地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

長野県岡谷市

自治体の課題、現状

- 少子化による生徒数減少で部活動の維持が困難となり、廃部や合同チームが増加している。さらに、教員減少や専門顧問不足、教員の多忙化も重なり、働き方改革の観点から部活動の抜本的な見直しが求められている。

- 中学生が地域でスポーツに親しめる環境づくりのため、受け入れ体制の整った軟式野球で実証事業を実施。運営体制や指導者確保、費用負担を検証し、令和8年度末までに休日の部活動を地域クラブへ移行することを目指している。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	4校	全生徒数	1,021人
域内の部活動数	28部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	6人
主な運営団体	岡谷市少年野球会		
主な種目	軟式野球		
平均的な活動回数	6回/月	年間平均参加生徒実数	3年：2人/クラブ 2年：13人/クラブ 1年：11人/クラブ
参加会費	保護者負担について検討中	主な活動場所	岡谷北部中学校 岡谷南部中学校 岡谷東部中学校

取組の概要や成果

- 令和6年6月に設立した地域クラブ活動（軟式野球）について、地域スポーツクラブ活動体制整備事業（実証事業）の取組を開始した。
- 部活動の地域展開について、本市の競技団体等と継続的に協議を行い、一定の方向性を整理することができた。
- 令和8年度末までの休日部活動の地域移行を目指し取組を推進。合同部活動や軟式野球の実証事業を通じて、活動機会の確保と教員の負担軽減に一定の成果が出ている。
- 平日から休日への部活動指導員の活用や地域クラブの指導者の確保により、今後持続して活動していく仕組みや他の競技や種目への展開を図っていくための課題を把握することができた。

運営体制図

